

# Adobe® Photoshop® Lightroom® 2.1 お読みください

Adobe® Photoshop® Lightroom® 2.1 をご利用いただき、ありがとうございます。この文書には、最新製品情報、機能についての注意事項、およびトラブルシューティング情報が記載されています。

必要最小システム構成

Lightroom 2.1 のインストール

シリアル番号

アップグレードに関する情報

プログラムに関する一般的な情報

Lightroom 2.1 の新機能

Lightroom 2.1 と Adobe Photoshop Camera Raw の連携

サポートについて

その他のリソース

## 必要最小システム構成

### Windows

- プロセッサ：インテル® Pentium 4
- OS：Microsoft® Windows® XP ( Service Pack 2 ) 日本語版 ( 32bit 版対応 )、または Windows Vista® Home Premium、Business、Enterprise または Ultimate 日本語版 ( 32bit/64bit 版対応 )
- RAM：1 GB
- ハードディスク：1 GB の空き容量のあるハードディスク
- メディア：CD-ROM ドライブ
- ディスプレイ：1024 x 768 のモニタ解像度
- アップデータ利用などのためにブロードバンドインターネット接続

### Macintosh

- プロセッサ：PowerPC® G4、G5 または インテル® プロセッサ
- OS：Mac OS X v10.4.11 日本語版 ( 32bit 版対応 ) - v10.5.2 日本語版 ( インテル プロセッサ搭載機種で 32bit/64bit 版対応 )
- RAM：1 GB
- ハードディスク：1 GB の空き容量のあるハードディスク
- メディア：CD-ROM ドライブ
- ディスプレイ：1024 x 768 のモニタ解像度
- アップデータ利用などのためにブロードバンドインターネット接続

## Lightroom 2.1 のインストール

次のいずれかの手順に従ってください。

1. Lightroom がインストールされているコンピュータの場合：

- a. アドビの Web サイト から Lightroom 2.1 アップデートをダウンロードします  
( <http://www.adobe.com/jp/downloads/updates/> ) 。
  - b. フォルダを開いて Adobe Photoshop Lightroom ( Windows または Macintosh ) をダブルクリックし、画面の指示に従います。
2. 旧バージョンの Lightroom がインストールされていないコンピュータの場合 :
- a. 最新バージョンの Lightroom はアドビの Web サイト からダウンロードすることができます。Lightroom 2.1 へアップデートする前に Lightroom 2.0 をインストールしておく必要はありません。利用可能な最新の Lightroom 2.1 をダウンロードしてインストールしてください  
( <http://www.adobe.com/jp/downloads/updates/> ) 。
  - b. フォルダを開いて Adobe Photoshop Lightroom ( Windows または Macintosh ) をダブルクリックし、画面の指示に従います。

### 64 ビット版のインストールに関する情報

**Macintosh :** Lightroom 2 は、初期設定では 32 ビットアプリケーションです。 OS X 10.5 を使用しているインテルベースのコンピュータで Lightroom 2 を 64 ビットアプリケーションとして使用するには、アプリケーションフォルダで「Adobe Lightroom 2」を選択し、情報を見る ( Command+I キー ) を選択して、「32 ビットモードで開く」チェックボックスをオフにします。

**Windows :** Lightroom 2 のインストーラには、32 ビット版および 64 ビット版の両方が含まれています。 初期設定では、64 ビット版は、64 ビット版の Windows Vista オペレーティングシステムのみでインストールできます。 それ以外のオペレーティングシステムでは、初期設定で 32 ビット版がインストールされます。

## シリアル番号

1. 現在 Lightroom 2 を使用しているお客様は、シリアル番号を再入力する必要はありません。
2. シリアル番号は、CD カバーの背面に記載されている 24 桁の英数字 ( 例 : 0000 0000 0000 0000 0000 0000 ) です。 オンラインまたはダウンロード販売 ( ESD ) で購入した場合、シリアル番号は、オンラインストアのレシートページと、確認電子メールの両方に記載されます。 この番号は、Photoshop Lightroom のインストール時に必要となります。
3. アップグレードライセンスを購入した場合、Lightroom 1 のシリアル番号を入力する必要があります。 Lightroom 1 のライセンスを登録済みのコンピュータの場合は、入力する必要はありません。

## アップグレードに関する情報

- Lightroom 1 カタログは、Lightroom 2 を起動してから選択して更新することができます。
- Lightroom 2 でカタログを更新しても、元の Lightroom 1 カタログは削除されません。 Lightroom 2 の 30 日間の体験版を使用して旧バージョンのカタログを更新した場合、いつでも Lightroom 1 に戻って以前のカタログを再び使用することができます。 ただし、Lightroom 2 カタログに更新して Lightroom 2 で編集を行った場合、Lightroom 1 では反映されません。
- Windows 版 Photoshop Elements 6 のライブラリを更新するには、ライブラリを更新する前に Photoshop Elements をコンピュータにインストールしておく必要があります。

- Lightroom 2 英語版パブリックベータのカタログは、Lightroom 1 カタログと同じ手順で更新できます (ただし、Lightroom 2 英語版パブリックベータで画像に適用した部分補正に、変化が見られる場合があります)。
- 同じ Lightroom 1 カタログを 2 回以上更新しようとする、前に更新したカタログの保存場所が表示されます。

## プログラムに関する一般的な情報

### 既知の問題

- 64 ビット版の Lightroom ( Windows 用 ) では、書き出した画像をディスクに焼き込むことができません。
- カタログの読み込み中に Lightroom 1 カタログを更新すると、更新中にカタログの一時コピーが複製されることがあります。
- Windows のごみ箱に大量のファイルが残っている場合、Lightroom の動作性能に影響することがあります。
- Windows Vista コンピュータにメモリカードが挿入されたときに、Lightroom の読み込みダイアログが自動的に起動しないことがあります。ライブラリモジュールで「読み込み」ボタンを選択して、挿入したカードリーダーを選択して読み込みを開始してください。
- カタログに数百個のルート ( 最上位 ) フォルダがある場合、起動時間が非常に長くなることがあります。この問題は現在調査中ですが、修正には時間がかかる可能性があります。対応策として、ルートフォルダを右クリックして、フォルダ階層の左端のレベルが十分小さくなるまで、「上位フォルダを追加」を選択します。
- 部分補正機能のパフォーマンス向上に、現在も取り組んでいます。

### サポートされているファイル形式

- JPEG
- TIFF ( 8 ビット、16 ビット )
- PSD ( 8 ビット、16 ビット )
- DNG
- RAW ( サポートされている RAW ファイルについては、<http://www.adobe.com/jp/products/photoshop/cameraraw.html> を参照してください。Lightroom 2.1 でのファイルのサポートは、Camera Raw 5.1 と同様です)

#### 新規サポートされる RAW ファイル形式 :

キャノン	EOS 1000D ( EOS Kiss F/Digital Rebel	ニコン	COOLPIX P6000
XS )		ニコン	D90
キャノン	EOS 50D	ニコン	D700
富士フイルム	FinePix IS Pro	オリンパス	SP-565 UZ
コダック	EasyShare Kodak Z1015 IS	ペンタックス	K-m ( K2000 )
リーフ	AFi II 6	シグマ	DP1
リーフ	AFi II 7	ソニー	DSLR-A900
リーフ	Aptus II 6		

### サポートされていないファイル形式

- CMYK ファイル
- 合成画像なしで保存された PSD ファイル ( 「互換性を優先」 を設定することなく保存された PSD ファイル )
- 幅または高さが 65,000 ピクセルより大きいファイル ( 合計 512 メガピクセル )
- ビデオファイル ( デジタルカメラで撮影されたビデオファイルなど )

## Lightroom 2.1 の新機能

本リリースの目標は、Lightroom 2.0 のリリースに伴ったバグへの対処と、Camera Raw サポートを追加することです。本リリースで修正された問題の包括的なリストを以下に示します。

### 安定性に関するバグおよび深刻なバグ - 修正済み

- Windows Vista 64 ビット版で Web モジュールの切り替え時に、Lightroom がクラッシュすることがある。
- カスタムカメラプロファイルを選択、または自動ホワイトバランスを使用すると、回転するボールが表示される。
- 環境設定ファイルが、存在しないカタログを参照していると Lightroom が登録ダイアログを処理できない。
- SSE2 対応ではないプロセッサを搭載したコンピュータで仮想コピーを作成しようとする、エラーが発生することがある ( これは Pentium 4 プロセッサで導入された、命令をプロセッサに送信する方法です。ほとんどの最新マシンには影響はありません ) 。
- 無効になっているセカンドモニターでダイアログを開こうとして、Lightroom が応答しないように見える。
- 派生 TIFF ファイルへの書き出し用に DNG ファイルを選択して、書き出し時に DNG ファイルがカタログに追加されると、ファイルの 1 つがサイドカーとして扱われ、片方のファイルを削除すると両方とも削除される可能性がある。

### パフォーマンスのバグ - 修正済み

- Lightroom カタログ内に既存の画像を大量に読み込もうとすると、パフォーマンスが大幅に低下する。
- 各フォルダの横に表示される画像数の表示が遅い。
- コレクションの切り替え時に、キャリブレーションプロファイルディレクトリを過剰にスキャンする。
- グリッドビューの「3 点」インジケータが必要以上に長く残る。
- Mac OS での 64 ビット版 Lightroom では SSE2 最適化が保存されず、レンダリング速度が低下する。
- ライブラリおよび現像モジュールでのメモリリークにより、Lightroom のパフォーマンスが低下する。
- プリセットまたは読み込みでキーワードを適用すると、読み込みのパフォーマンスが大幅に低下する。
- フォルダ同期時にパフォーマンスが大幅に低下する。

## キーワードとメタデータ - 修正済み

- Lightroom 1.4.1 のキーワードが初期設定で画像の読み込みに含まれていない ( Lightroom 2.1 を使用して Lightroom 1.4.1 からアップグレードしたカタログにはこの問題はありませんが、2.0 を使用して 1.4.1 からアップグレードしたカタログは、次のテクニカルサポートサイトに掲載されたスクリプトを使用する必要があります : <http://support.adobe.co.jp/faq/faq/qadoc.sv?234362+002> )。
- Lightroom 以外のアプリケーションでメタデータを変更したファイルでプレビューをレンダリングする際に、プレビューが完了する前にレンダリングを停止する。
- 「すべての検索可能なフィールド」オプションでキャプションテキストが検索されない。

## Photoshop との相互運用 - 修正済み

- Photoshop で編集が正しく機能しない、またはまったく機能しないことがある。
- Photoshop で使用するファイルが Lightroom で作成されるときに、「著作権のステータス」および「著作権情報の URL」フィールドが転送されない。
- Photoshop での編集時に、IDImager アプリケーションからの XMP メタデータが引き継がれない。
- Lightroom のファイルを「Photoshop で編集」セッションで編集した後、ファイル名にアンパサンドを含むファイルが Lightroom のライブラリに戻らない。
- 「Photoshop で編集」で使用するファイルを、名前にアポストロフィが含まれるフォルダから選択すると操作が失敗する。
- 特定の NEF ファイルを Lightroom から Photoshop で開くと、正しく回転しない。

## その他の障害事項 - 修正済み

- 書き出したカタログから存在しない写真を再度読み込むと、「前の設定を仮想コピーとして保持」の設定が無視される。
- スライダの上にマウスが置かれ、スライダがアクティブになっている状態でスライダ調整を取り消そうとすると、2 つ前までのステップが取り消される ( Windows のみ )。
- 現像モジュールでディテールパネルが選択されているときに、背景光モードが点滅する ( Windows のみ )。
- 切り抜き縦横比を初期化しても、切り抜き縦横比が最後に選択された比に戻る。
- ブラシが特定のサイズ以上の場合、スポットツールがコピースタンプモードから修復モードに切り替わらない。
- 特定の ORF ファイルが Lightroom で読み取れない。
- DNG への読み込み中および変換中に、ファイル名の変更時にファイルの EXIF 日付ではなく、オペレーティングシステムの日付スタンプが使用される。
- 自動レイアウト機能を使用してパノラマ画像を縦レイアウトで印刷すると、画像の印刷解像度が低くなる。
- 書き出し SDK を使用するプラグインを使用すると、フィルタによってファイル形式が変更されるときにカラースペースが意図せず変更される。
- キーワードパネルのテキストフィールドに東ヨーロッパ文字を入力して Backspace キーで戻ると文字が正しく表示されない。

- 部分補正プリセットが正しく更新されない。
- 切り抜きモードで Shift キーを押しながらドラッグ すると、縦の切り抜きが横の切り抜きにジャンプする。
- .Ircat ファイルをダブルクリックすると、修復が正常終了しない ( Windows のみ ) 。
- 「メタデータをコピー」または「メタデータをペースト」を選択すると、チェックしていないキーワードが含まれる。
- シグマ DP1 のホワイトバランスの問題を修正。

## Lightroom 2.1 と Adobe Photoshop Camera Raw の連携

Lightroom と Photoshop Camera Raw には、RAW に対応しているすべてのアプリケーションで処理の一貫性と互換性が確保されるように、同一の画像処理テクノロジーが搭載されています。RAW に対応しているアプリケーションには、Photoshop、Photoshop Elements および Premiere Elements などがあります。Lightroom 2.1 は Camera Raw 5.1 および Camera Raw 4.6 の両方と互換性があります。

### Photoshop Camera Raw 4.6 および 5.1

アドビアプリケーションにおいて Lightroom 2.1 の現像モジュールの設定との互換性を確保するには、Camera Raw 4.6 もしくは 5.1 プラグインへアップデートする必要があります。Photoshop のユーザは、ヘルプメニューに表示されるアップデートツールを使用して、Camera Raw プラグインを自動的にアップデートできます。Camera Raw プラグインは、アドビの Web サイト ([www.adobe.com/jp/products/photoshop/cameraraw.html](http://www.adobe.com/jp/products/photoshop/cameraraw.html)) にアクセスして手作業でダウンロードおよびインストールすることもできます。インストールの手順には厳密に従ってください。

### Camera Raw との Lightroom 設定の共有

初期設定では、Lightroom の現像モジュールの設定は、Lightroom のデータベースに保存されます。Lightroom の現像設定を Camera Raw でも表示させるには、そのファイルの現像設定が XMP メタデータに書き込まれている必要があります。このメタデータは、RAW ファイルの現在の画像ディレクトリの XMP サイドカーファイル (ファイル名.xmp) に保存されるか、DNG ファイル内に直接保存されます。画像を最新の現像設定で更新するには、ライブラリモジュールを選択し、対象の画像を選択します。Command または Ctrl+S キーを押して設定を XMP メタデータに保存します。

### Camera Raw での Lightroom の設定の表示

Lightroom と Camera Raw を連携させる前に、Camera Raw の環境設定を「画像設定の保存先: サイドカー ".xmp" ファイル」に設定してください。初期設定では、Camera Raw は Lightroom の現像モジュールで設定した画像の調整と同じように表示します。

### Lightroom での Camera Raw の設定の表示

以前のバージョンの Camera Raw で編集された RAW ファイルは、Lightroom に読み込まれた後も、まったく同じように表示されます。注意: これらのファイルは、Lightroom が以前の編集内容を認識できるように、環境設定が「画像設定の保存先: サイドカー ".xmp" ファイル」に設定されているときに編集されていなければなりません。Lightroom に読み込まれた後に Camera Raw で編集されたファイルは、メタデータメニューから、「メタデータをファイルに保存」を選択して Lightroom で更新することができます。注意: このメニューオプションは Lightroom のライブラリモジュールのみで使用できます。

### Camera Raw と Lightroom に関する補足事項

- Camera Raw は、Lightroom のライブラリモジュールのメインの画像に適用されている現在の設定のみを読み取ります。仮想コピーとスナップショットでの調整は、Camera Raw では表示または使用できません。

## サポートについて

### カスタマーサービス

ご購入前のアドビ製品に関するお問い合わせ、お電話による製品のご注文、アドビストアに関するお問い合わせや、ユーザ登録、ご購入後のロック解除手続きなど、テクニカルサポート以外のお問い合わせについて提供しております。お問い合わせ方法につきましては、アドビホームページ ( <http://www.adobe.com/jp/> ) 内の「お問い合わせ」からご確認ください。

### サポートプランとテクニカルリソース

サポートプランやトラブルシューティングリソースなどを含む製品の技術的なサポートが必要な場合は、<http://www.adobe.com/jp/support/> を参照してください。無償のトラブルシューティングリソースには、アドビのサポートデータベース、ユーザフォーラムなどがあります。

## その他のリソース

デザインセンター ( <http://www.adobe.com/jp/designcenter/> )

シンクタンク、ダイアログボックス、チュートリアルなどのさまざまなコンテンツがあります。

---

Copyright © 2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe, Photoshop and Lightroom are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All trademarks noted herein are the property of their respective owners.

---

<AdobeIP# A0000645>

10/6/2008